

平成 25(2013) 年度 「英語能力判定テスト」における 淡路中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
 - (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立中学校 全生徒

3 実 施 日 ・ 3 年 生 平成 2 5 年 1 0 月 2 1 日（月）
 ・ 2 年 生 平成 2 6 年 1 月 2 7 日（月）
 ・ 1 年 生 平成 2 6 年 1 月 2 7 日（月）

4 内 容

学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3 年	テストD	英検 3 ～ 5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2 年	テストE	英検 4 ～ 5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1 年	テストF	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

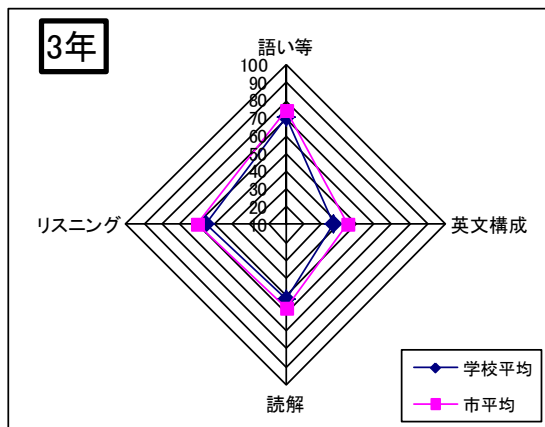
* 教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

* 英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

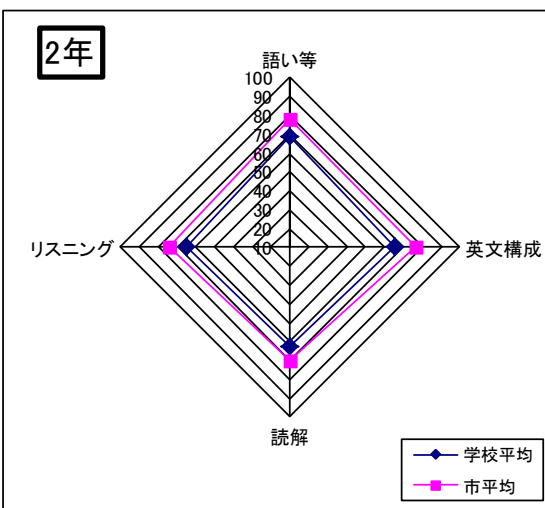
「英語能力判定テスト」結果(分野別正答率)の概要と今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

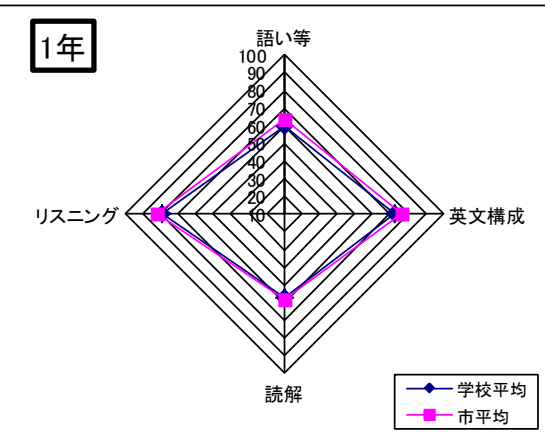
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	71	37.3	51.8	55.4
市平均	74.8	44.9	56.4	59.9



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	69	65.3	62.2	64.7
市平均	78.5	76.1	69.7	74.2



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	59.7	72.7	57.1	78.9
市平均	63.3	76.2	58.4	81.8



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

「語い等」の分野の正答率は約7割と高い一方、「英文構成」については4割弱程度にとどまっていると同時に、大阪市平均との差が大きい。「英文構成」の指導を充実させることが必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

学力の程度の2極化の傾向は、他の教科と同様、なかなか解消できない。3年時では、これまでの学習の積み重ねを大切にしつつ、とりわけペア学習に取り組んできたが、今後は、C-NETとのTTをはじめ、ICTの活用、ペア学習のより効果的な導入など、授業をより一層工夫するとともに家庭学習の充実にもつなげたい。

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

「語い等」の分野の正答率は約7割と高い一方で、大阪市平均との差は、すべての分野で7.5ポイントから10.8ポイントと大きい。全体的な学力向上が必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

学力の程度の2極化の傾向は、他の教科と同様、なかなか解消できない。2年時は、文の構成の定着に取り組んだが、今後は、C-NETとのTTをはじめ、ICTの活用、協働学習の効果的な導入など、授業をより一層工夫するとともに家庭学習の充実にもつなげたい。

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「リスニング」の分野で正答率が約8割、「英文構成」で7割強と高い。その一方で、大阪市平均との差は、すべての分野で1.3ポイントから3.6ポイント下回っている。

全体的な学力向上が必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

学力の程度の2極化の傾向は、他の教科と同様、なかなか解消できない。1年時は、単語を覚えるとともに、英語を英語で理解するように取り組んできたが、今後は、C-NETとのTTをはじめ、ICTの活用、協働学習の効果的な導入など、授業をより一層工夫するとともに家庭学習の充実にもつなげたい。